

年度当初の4月が終わろうとしています。GW明けも緊急事態宣言や臨時休業が延長されるのかどうか(4/28、9:00現在未定)、とても気がかりだと思います。ただ、どのような決定がなされようと、私たちが心がけることは不変です。まずは、感染に留意すること。そして、播磨農高3年生として置かれた環境で学業に全力で取り組むこと。非常時ほど、個人の本質が露わになります。54回生が積み重ねてきたことは、そう簡単に揺らがないと信じています！

GW明けの行事・スケジュール

4/28現在、校内にて精選・調整中です。近日中に学校HPでお知らせしますので、必ず確認してください。

進路実現に向けて③ ～お金の大切さ～

進学希望者も就職希望者も将来的には仕事に就いて、生計を立てることに違いはありません。**生きていく限り、仕事とお金の問題は避けて通れません。**みなさんは**今**、お金を払って(保護者に払っていただく)高校で学んでいます。**お金を払う対価として、学ぶ権利が発生**しています。しかし、**将来**はお金を貰って仕事をします。そして、**お金を貰う対価として、労働の義務が発生**します。この違いの大きさがわかりますか?! つまり、**仕事をするうえで、給料に見合う成果をあげなければ、有形無形のプレッシャーによって、その仕事を続けていくことが困難になる**ということです。**お金はとて大切なもの**です。しかし、**稼ぎつづけることは決して簡単ではありません。**進学希望者は数年後、就職希望者に至っては一年後に、その世界に足を踏み入れます。**現実から目を背けず、しっかり力を身につけて**おこう！

日本学生支援機構奨学金(予約採用)について

日本学生支援機構(JASSO)の奨学金について、**主なポイント**をまとめておきます。

- ①給付型(返済なし)と貸与型(返済あり、第1種は無利子、第2種は有利子)があります
- ②給付型、貸与型それぞれに収入や成績等の条件があります
- ③給付型と貸与型を組み合わせることも可能です(条件あり)
- ④進学(届提出)後に給付・貸与されるので、入学金に活用することはできません
- ⑤5月～6月に本校を通じて、予約申込(書類提出+WEB入力)を行います
- ⑥申込に本人と親のマイナンバーが必要(紛失された方は再交付を受けてください)
- ⑦採用候補者の決定通知がくるのは、10月下旬～12月下旬になります
- ⑧予約申込を行った後でも、不要になれば容易に辞退できます

この奨学金の活用を検討されている方は、**同封のパンフレットをご覧ください**。また、**JASSOのHPをご覧ください**。特に以下のページの動画(【予約採用】奨学金を希望する皆さんへ 一全編一(30分55秒))を視聴されることをお勧めします。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/yoyaku/movie.html>

希望者には**後日申込書類を配付し、本校を通して予約手続きを進めていきます**。質問がございましたら、進路指導部担当者か学年主任までお尋ねください。

臨時休業中の宿題一覧

※内容は別紙にてご確認ください。

※GW後も臨時休業が継続される場合には新たに宿題が出されますので、計画的に進めましょう！

私の高校生活② ～全力で取り組んだからこそ～

私の高校生活は勉強、部活動、学校行事などに全力で取り組み、クラスの仲間にも恵まれてとても充実したものでした。特に印象に残っているのは、体育大会での『着付け競争』です。『着付け競争』は私が通っていた高校の伝統的な競技です。全校生の前で、担任の先生とクラス代表10名が30秒という短い時間でダンスや劇をしながら着付けパフォーマンスを行うという競技で、毎年一番の盛り上がりを見せます。体育大会は9月中旬に実施されるのですが、3年生の時には「最高学年の意地を見せよう」と受験勉強の合間を縫って、夏休み中から衣装やBGMの作成など入念な準備を行いました。「千手観音」をテーマにクラス一丸となって取り組んだ結果、何と3学年全27クラスのなかで見事優勝することができました。『着付け競争』の加点が大きかったのか、総合優勝も果たして、一生の思い出になりました。

高校生活のなかで最も熱中し、一番の挫折を味わったのも部活動でした。中学時代は家庭の事情で部活動をできなかったこともあり、高校入学後は必死に取り組みました。私の学年は51名もの部員がおり、初心者の私は入部当初51番手でした。当然のことながら団体メンバーには入れず、個人戦でもなかなか勝てませんでしたが、親からの反対を押し切って始めたこともあって誰よりも努力しました。仲間と声を掛け合い、初日の出を見ながら練習したことも覚えています。その甲斐もあり、最終的には10番手ぐらいに上達しました。結果がなかなか出ない状況から目を背けず、一生懸命頑張ったことが今につながっていると思います。

一方、部活動に熱中しすぎたこともあって、成績は入学時から下降線を辿っていました。このままではまずいと思い、部活動を引退した後は放課後から朝方まで、風呂・トイレ・食事の時間以外はすべて受験勉強に費やしました。そのような生活を続けることができたのは、部活動をやり抜いたという自信と経験が大きかったからだと思います。

私は小学校5年生の担任の先生に憧れ、その頃から将来は小学校の先生になりたいと思っていました。しかし、何と進学した大学では小学校教諭の免許が取得できず、高校の先生に路線変更することにしました。将来をしっかりと見据えて進路選択することの大切さを身をもって知った一人です。とはいえ、最終的に高校教師を目指そうと思ったのは、高校でも魅力的な先生に出会ったことと充実した学校生活があったからなので、振り返ってみるととても楽しく有意義な高校生活でした。

【今回取材に応じてくれた先生から54回生のみなさんへメッセージ】

長い人生のなかで高校時代は一つのことに熱中できる素敵な時期。余力を残したまま卒業するのはもったいない！今できることを考え、必死で努力をしよう！

保護者のみなさまへ

5/16(土)に開催予定であった授業参観・PTA総会・進路説明会が中止になりました。進路説明会では①過去の進路実績②今年度の進路情報③日本学生支援機構奨学金について、お知らせする予定でした。①はGW明け以降に『2020年度進路の手引き』を配付しますので、ご確認ください。また、本校HPでも進路実績を掲載しておりますので、併せてご覧ください。②は新型コロナウイルスの感染拡大状況により、なかなか情報を掴み切れていないのが現状です。今後、学年通信や学校HP等で随時お知らせしていきますので、ご確認をお願いします。③はこの学年通信の『日本学生支援機構奨学金(予約採用)について』をご覧ください。活用を検討される方は必ず詳細情報をご確認ください。いずれも大切な情報でありながら、全家庭に直接お伝えするのが困難な状況です。各家庭で関連する情報をご確認いただき、質問がありましたら遠慮なくご連絡ください。このような状況のなか、保護者の皆様方も生徒の皆さんも不安が大きいと思いますが、随時最新の情報をお伝えしながら情報共有をはかっていきたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

